

オープンフォーラム「漢字文化の今」第4回 「マスメディアと漢字」

漢字にたいする人々の意識や感覚の生成に、新聞、雑誌をはじめとするマスメディアは大きな影響を与えています。例えば、新聞に登場する漢字は、印刷にデジタル処理が導入された結果、従来の制限を越えて増加しつつありますが、それは当然に、漢字にたいする人々の親疎感を左右することになるでしょう。情報を発信する記者や編集者たちの現場で、そして紙面・画面制作の現場で、漢字はどのように扱われているのでしょうか。本フォーラムでは、ジャーナリスト、編集者の目から見た漢字の現状を討議します。

日時：2007年2月11日（日） 午後1時～5時
会場：京都新聞文化ホール（京都市中京区烏丸通夷川上ル）
入場無料、要申込

基調報告「マスメディアと漢字」（午後1時～午後3時）

小山鉄郎（共同通信社 編集委員・論説委員）
安岡孝一（京都大学人文科学研究所 助教授）

パネル・ディスカッション（午後3時15分～午後5時）

司会：

石川禎浩（京都大学人文科学研究所 助教授）

パネラー：

柴田 実（NHK 放送文化研究所 主任研究員）

長澤孝二（京都市立洛北中学校 教諭）

山本啓世（京都新聞 記事審査部長）

高田時雄（京都大学人文科学研究所 教授）

富谷 至（京都大学人文科学研究所 教授）

主催：京都大学 21世紀 COE「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」
京都新聞社

申し込み方法：はがき、ファックス（075-255-9763）に、郵便番号、住所、氏名、
電話番号を記入し、2月5日（必着）までに
〒604-8567 京都新聞 COM 事業部「漢字文化の今」係へ

お問い合わせ先：京都大学人文科学研究所 tel. 075-753-6997
e-mail：coe@zinbun.kyoto-u.ac.jp